

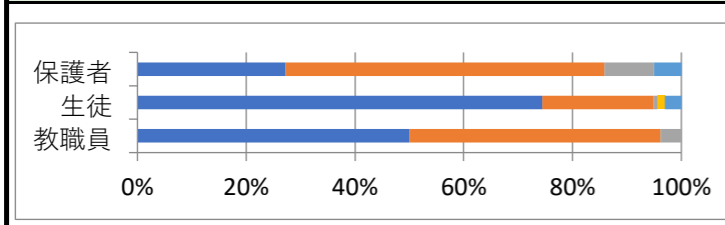
令和4年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

①いのちを大切にす心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

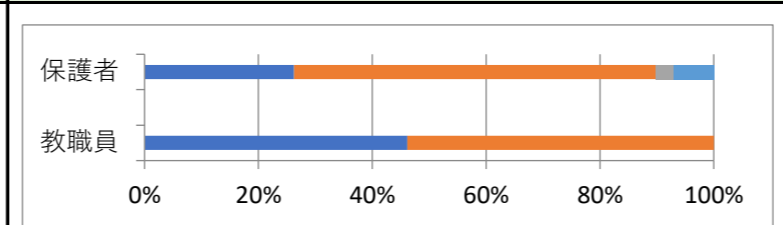
1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にす指導や対応ができていますか。



2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

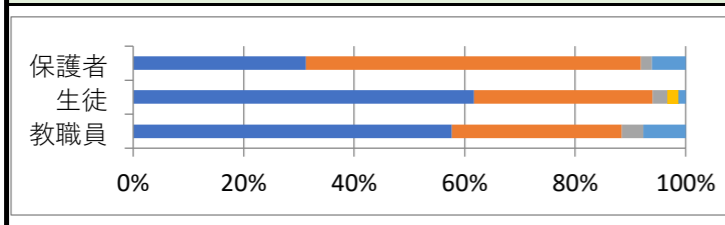


考察：心の教育の充実については、保護者、児童、教職員それぞれ「4」「3」を占める割合が8割を超えており、校則等のきまりの見直しや、子ども基本法の学習など子どもの視点を大切にす取組や、泉っ子輝き月間等の開催により一定の理解を得たものとする。また、さらに豊かな心の育成を充実させていきたい。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

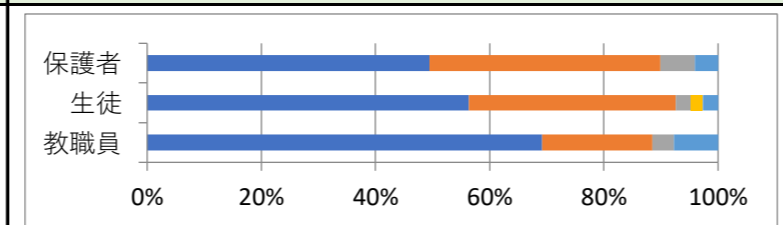
3 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

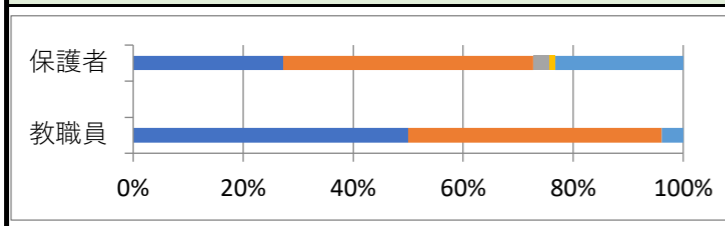


考察：授業力向上、タブレット端末活用について、教職員の「4」「3」を占める割合が昨年度より減少している。ICT機器の活用が着実に定着しつつあるものの、さらなるスキルアップが必要だと感じている職員も多い。ICT推進リーダーを中心に、効果的な活用について研修の充実を図っていく必要がある。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備

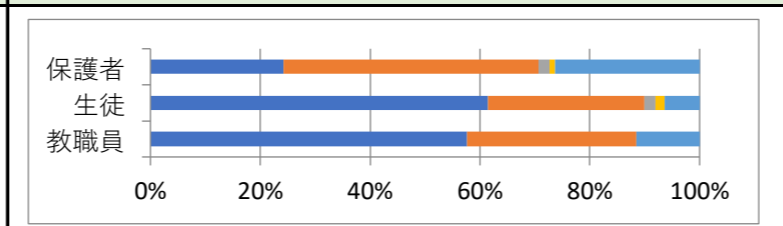
5 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



6 共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。

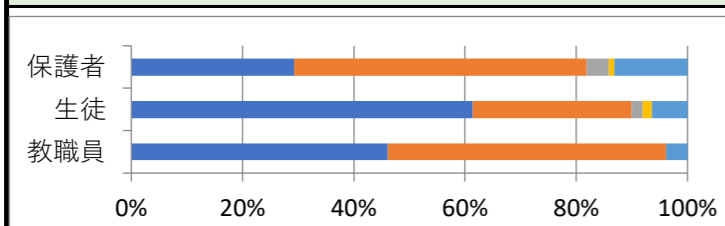


考察：学校の支援体制、共生社会を担う人材の育成ともに、「分からない」との保護者の回答が見られた。今年度は校内支援委員会の充実を図ったものの、特別支援教育における学校の取組について十分に伝えられていなかったものと考えらえる。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

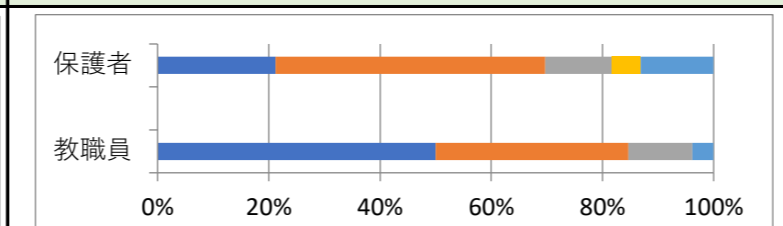
7 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。



8 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



考察：家庭と地域との連携協力について「そう思わない」との保護者の回答が昨年度と比べ、微増している。昨年度同様、コロナ禍の中で行事の見直しを行うとともに工夫をしながら、学校行事の開催を行ってきたが、PTAや地域との活動は以前のような実績には至っていないとされる。

来年度の具体的な取組について

- ・心の教育の充実に向けて、道徳教育推進教師を中心に確実な道徳の時間の確保と、道徳授業の家庭地域への公開を行う。
- ・「人権の花運動」や学年の系統性を重視した体験活動等の充実を図り、自分を大切にす子どもの育成を行う。
- ・特別支援教育の本校の取組の様子や、特別支援教育の理解を深める啓発の機会を積極的に増やしていく。
- ・PTAや地域の方々と安心して取り組める活動について協議し、地域や家庭と連携した活動を順次再開させ活性化を図る。
- ・主体的に学ぶ子どもを育て、授業づくりについて研修を進めるとともに通信や授業参観等を通して、学びの様子を保護者に伝えていく。

学校関係者評価

- ・新型コロナの感染により、地域の行事も以前のように開催ができない状況は残念だが、朝帰りの元気のよい挨拶をきくと学校で頑張っているよううれしく思う。
- ・タブレットを使った授業がどの学年でも行われていて、子どもたちもよく使いこなしていると感心した。
- ・先生の話をよく聞きながら、落ち着いて授業を受けることができている。
- ・朝から校庭で元気に遊んでいる子どもが多い。これからもしっかり遊んで、しっかり学んでほしい。
- ・江津湖や動物園など、豊富な水や美しい風景があり、この地域にはたくさんの資源がある。子どもたちが自分の住む町を知り好きになり、誇りに思ってもらえるようこれからもたくさん地域のことを学んでほしい。